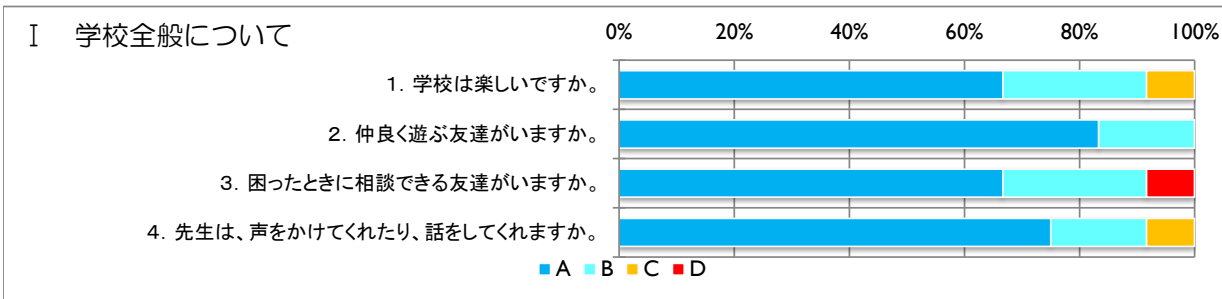


令和3年度 丹波小学校 学校生活アンケート（児童）の結果と考察について

評価基準 A：そう思う B：ややそう思う C：ややそう思わない D：そう思わない 11名回答
 評価点数 A：4点 B：3点 C：2点 D：1点

I 学校全般について

質問内容	A	B	C	D	評価
1. 学校は楽しいですか。	8	3	1	0	3.6
2. 仲良く遊ぶ友達がいますか。	10	2	0	0	3.8
3. 困ったときに相談できる友達がいますか。	8	3	0	1	3.5
4. 先生は、声をかけてくれたり、話をしてくれますか。	9	2	1	0	3.7



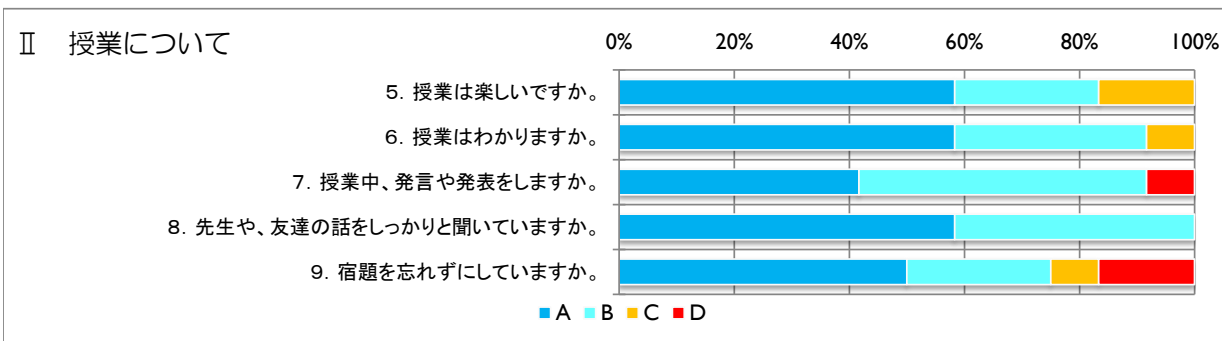
○児童アンケート結果より（達成状況・改善策）

学校生活全般については、どの項目も概ね高い結果であり、良好な状態であるといえる。特に2. 仲よく遊ぶ友だちがいるか。4. 先生は、声をかけてくれたり、話をしてくれますか。についてはとても高い評価であり、友だちとの友好的な関係や教員との良好な関係がうかがえる。3. の「困ったときに相談ができる友達がいますか。」という質問に対して、他の3項目より低い評価ではあるが3.5となっている。学年の枠を越えて互いに相談したりできる関係づくりもさらに力を入れていきたい。学級活動や日常の関わり、行事等に向けた取組を通して互いを意識し、温かな「心のつながり」を育めるよう、きめ細かな指導を行っていく。

3.6

II 授業について

質問内容	A	B	C	D	評価
5. 授業は楽しいですか。	7	3	2	0	3.4
6. 授業はわかりますか。	7	4	1	0	3.5
7. 授業中、発言や発表をしますか。	5	6	0	1	3.3
8. 先生や、友達の話をしっかりと聞いていますか。	7	5	0	0	3.6
9. 宿題を忘れずにしていますか。	6	3	1	2	3.1



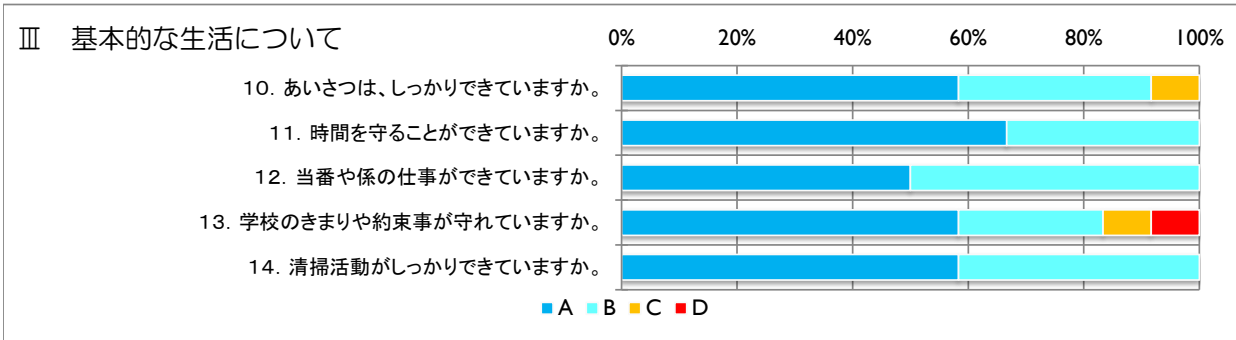
○児童アンケート結果より（達成状況・改善策）

授業についても多くの項目で高い結果が出ている。7. 授業中、発言や発表をしますか。8. 先生や、友だちの話をしっかりと聞いていますか。については児童が他の人の意見を聞き、発表する等、「言語活動」を重視した授業改善がうかがえる。さらに基礎・基本の定着を図り、さらに「分かる授業」の実施に向け校内研究を充実を図りつつ取り組んでいきたい。また、9. の宿題への取組については、実施方法の検討・工夫を行い、家庭での学習習慣の定着に向けた取組を行っていく。

3.4

Ⅲ 基本的な生活について

質問内容	A	B	C	D	評価
10. あいさつは、しっかりできていますか。	7	4	1	0	3.5
11. 時間を守ることができていますか。	8	4	0	0	3.7
12. 当番や係の仕事ができていますか。	6	6	0	0	3.5
13. 学校のきまりや約束事が守られていますか。	7	3	1	1	3.3
14. 清掃活動がしっかりできていますか。	7	5	0	0	3.6

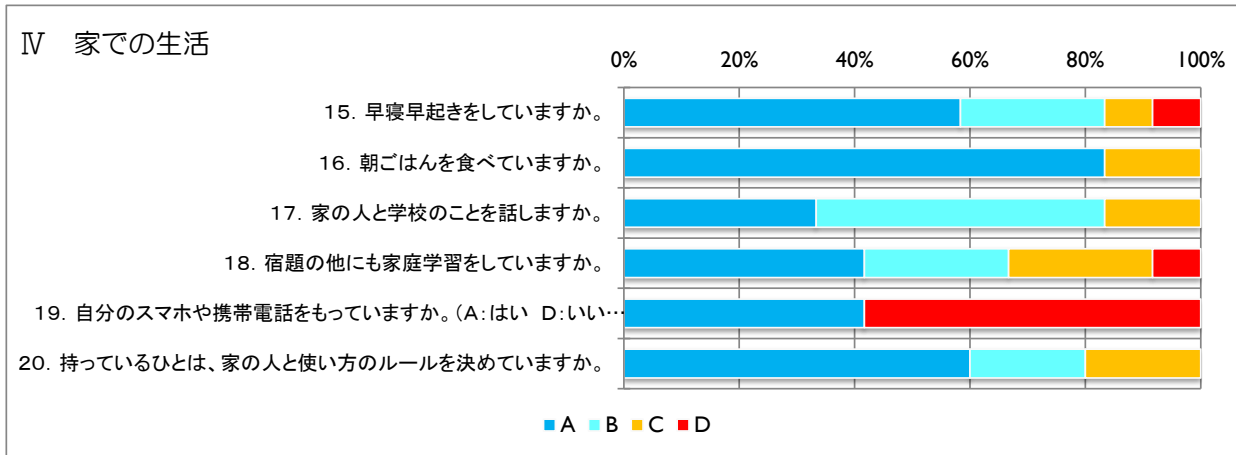


○児童アンケート結果より（達成状況・改善策）

<p>基本的な生活についても、概ね高い評価である。10. あいさつについては、今後も継続した指導・取組をしていきたい。11. 時間を守ること、12. 当番や係の仕事、14. 清掃活動の項目は評価が高く、時間を意識した行動や全員が自分の仕事に責任を持ち、清掃活動に前向きに取り組んでいる様子がうかがえる。13. 学校のきまりや約束事については、あまり守れていないと回答している児童もあり、学級や全校での活動において目標・きまりを設定し、意識しながら取り組むよう働きかけ、互いに協力し充実した学校生活を送れるよう集団活動を進めていきたい。</p>	3.5
---	-----

Ⅳ 家での生活

質問内容	A	B	C	D	評価
15. 早寝早起きをしていますか。	7	3	1	1	3.3
16. 朝ごはんを食べていますか。	10	0	2	0	3.7
17. 家の人と学校のことを話しますか。	4	6	2	0	3.2
18. 宿題の他にも家庭学習をしていますか。	5	3	3	1	3.0
19. 自分のスマホや携帯電話を持っていますか。（A：はい D：いいえ）	5	0	0	7	
20. 持っているひとは、家の人と使い方のルールを決めていますか。	3	1	1	0	



○児童アンケート結果より（達成状況・改善策）

<p>家庭での生活についても、複数の項目で高い評価となっている。しかしながら、17. 家の人と学校のことを話しますかについては、評価が3.2で多少低くなっている。連絡帳の活用等、家庭と連携し取り組んでいきたい。18. 家庭学習についても、自主学习等の宿題以外の課題への取り組み方について指導し家庭と連携しながら学習習慣の確立を図っていく。19. 20. スマホ、携帯電話については約5人、約4割の児童が持っていると回答している。適正な使い方についての指導や家庭への情報提供を増やしていきたい。</p>	3.3
--	-----